NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用した“ひびき合い学習”の工夫

2．学校名

福島県福島市立立子山中学校

3．実践者名（代表者名）

冨田義勝

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科　10人

6．単元（本時の学習課題）名

「生物の子孫の残し方」

7．目標（狙い）

遺伝に関する新聞記事について、減数分裂の場、遺伝子や形質が受け継がれていく様子、記事の内容から考えられる有益な点や問題点等について話し合いながら考察を深め、発表することで生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることについて発展的に理解を深めることができる。

8．評価の視点

①グループごとに考察する新聞記事を選び、減数分裂の場、遺伝子や形質が受け継がれていく様子等について考察を記入できる。（科学的な思考）

②グループで話し合い、新聞記事についての考察を簡単に発表できる。（技能・表現）

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「生物の子孫の残し方」（教科書教材）7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（1）植物はどのようにしてふえるのか　1時間
（2）動物はどのようにしてふえるのか　1時間
（3）染色体と形質　4時間
　①減数分裂と遺伝…　1時間
　②有性生殖・無性生殖と遺伝…　1時間
　③様々な遺伝…　1時間（本時）
　④遺伝スクラップ新聞の制作…　1時間
（4）まとめと問題練習　1時間

（留意点）

新聞記事の内容は科学的な内容だけでなく社会的にも難しい問題が含まれているため、生徒同士で意見を交換し合って考えさせ（ひびき合い学習）、グループごとに意見をまとめ、発表させることで考察をふかめさせたいと考えている。様々な意見や考察の中から遺伝子や生命の連続性の不思議さや科学的な理解の大切さ、生命

11．児童・生徒の反応、感想・意見

体細胞クローンや代理出産についてくわしく知ることができました。これからはいろいろなクローンができるかもしれないと思いました。

12．成果と課題

単元の学習内容にマッチした記事や思考力・想像力をかき立てる記事を活用して教科の学習を進めることは生徒にとっても大変興味深く、有意義な取り組みであった。しかし、学習に利用できるイメージ通りの記事は、内容によっては探すのが難しかった。今回の研究授業で活用した新聞記事は約半年間、7紙の新聞の中からピックアップしてきたものだが記事を探すために膨大な時間と労力を必要としたことは反省材料のひとつである。普段から毎日、新聞を読み学習に活用できる記事をこまめにスクラップする余裕があるといいと思う。